

第1号議案

令和3年度事業報告

令和3年度は、2年1月に国内で初確認された新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、三つの密の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、換気等の基本的な感染対策の徹底に加え、感染リスクが高いとされる飲食の場면을回避するための飲食店の時短営業や酒類提供の停止措置、人流や人との接触機会を削減する観点からの外出・移動の自粛、イベント及び大規模集客施設への時短要請等の取組が進められるとともに、3回のワクチン接種の促進が図られた。

さらに、感染拡大及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫の状況に応じて、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がとられたものの、感染の拡大と小康状態が繰り返され、終息が見えない中での、まさに、日本の社会、経済が新型コロナに翻弄された「コロナ禍」の二年目であった。

このような中で協会活動も、人との接触機会の削減要請等の制約を受けたが、DXの進展に伴いWebを積極的に活用する等、ウィズ・コロナの時代に合わせた事業形態の見直しを行うとともに、「循環型社会形成の実現とSDGsの推進に関する包括連携協定」の締結により新たな視点からの事業展開を図った。

I 自主事業部門（継続事業1）

1. 調査研究・広報事業

- ① 各種印刷物等の配布、ホームページへの掲載、委員会・部会・講演会等を通じ、随時、会員に法改正・行政施策の情報提供を行った。
- ② 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について情報提供を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、令和3年9月末までに収集した事例をホームページに掲載するとともに、「令和3年ヒヤリ・ハット事例」を会員に送付するなどして、その活用を促した。

2. 労働安全衛生推進事業

令和2年度からの3年間を実施期間とする「第2次労働災害防止計画」を策定し、「令和4年の死亡者数をゼロにする」、「令和4年の休業4日以上死傷者数を平成24～26年

の実績平均に比して20パーセント以上減少させる」を目標とし、労働災害防止に向け取り組んだ。

また、(公社)全国産業資源循環連合会から提供された「当業界における労働災害に関する報道情報」および「参考となる類似事故とその対策情報等」を会員へ周知した。千葉県内の労働災害の発生状況等について情報収集・取り纏めを行い、ホームページに掲載するなど、会員企業だけに留まらず、広く安全衛生に関する情報提供に努めた。

3. 研修事業

(1) 協会独自の研修会等（連携協定に基づくもの）

① 熱中症対策セミナー2021

開催日 令和3年 8月10日(火) Webセミナー

参加者 50名

講師 東京海上日動火災保険㈱

コマーシャル損害部ロスプリ&テクノロジー戦略チーム

江畑 雅紀 氏

② 事業継続力強化計画セミナー（簡易BCP）

開催日 令和3年11月26日(金) Webセミナー

参加者 30名

講師 東京海上日動火災保険㈱

営業開発部・中小企業支援室 課長代理 奥村 貴志 氏

③ 健康経営オンラインセミナー

開催日 令和4年 3月 4日(金) Webセミナー

参加者 72名

講師 東京海上日動火災保険㈱

営業企画部 地方創生・健康経営室 瀬戸 希 氏

(2) 許可申請に関する講習会等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが実施する令和3年度許可講習会は、オンライン講義を事前に受講し、その後、会場で試験を受ける2段階形式の講習会とされた。協会は、講習会試験の実施について、受付業務及び運営業務に協力した。

① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会試験

課 程	開 催 日	会 場	人数
産廃収運	令和3年 6月29日 (火)	ポートプラザちば	68名
	令和3年 6月30日 (水)	ポートプラザちば	60名
	令和3年 8月18日 (水)	ポートプラザちば	41名
	令和3年10月20日 (水) (午前・午後の2回)	ポートプラザちば	116名
	令和4年 1月13日 (木)	ポートプラザちば	61名
	令和4年 2月22日 (火)	ポートプラザちば	64名
	令和4年 3月16日 (水)	ポートプラザちば	62名
	令和4年 3月17日 (木)	ポートプラザちば	60名
産廃処分	令和3年 7月13日 (火)	ポートプラザちば	37名
	令和3年 8月19日 (木)	ポートプラザちば	10名
	令和3年12月 7日 (火)	ポートプラザちば	38名
特管処分	令和3年 7月13日 (火)	ポートプラザちば	39名
	令和3年12月 7日 (火)	ポートプラザちば	46名

② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会試験

課 程	開 催 日	会 場	人数
収集運搬	令和3年 6月29日 (火)	ポートプラザちば	68名
	令和3年 6月30日 (水)	ポートプラザちば	68名
	令和3年 7月 8日 (木)	ポートプラザちば	69名
	令和3年 7月 9日 (金)	ポートプラザちば	66名
	令和3年 8月19日 (木)	ポートプラザちば	52名
	令和3年 9月 7日 (火)	ポートプラザちば	65名
	令和3年 9月 8日 (水)	ポートプラザちば	69名
	令和3年11月25日 (木)	ポートプラザちば	68名
	令和3年11月26日 (金)	ポートプラザちば	65名
	令和4年 1月13日 (木)	ポートプラザちば	60名
	令和4年 1月19日 (水)	ポートプラザちば	67名
	令和4年 1月20日 (木)	ポートプラザちば	67名
	令和4年 2月22日 (火)	ポートプラザちば	66名
	令和4年 3月15日 (火)	ポートプラザちば	68名
	令和4年 3月17日 (木)	ポートプラザちば	64名

課 程	開 催 日	会 場	人 数
処 分	令和3年 7月14日 (水)	ポートプラザちば	40名
	令和3年 8月18日 (水)	ポートプラザちば	10名
	令和3年12月 8日 (水)	ポートプラザちば	39名

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会試験

開 催 日	会 場	人 数
令和3年 7月 8日 (木)	ポートプラザちば	67名
令和3年 7月 9日 (金)	ポートプラザちば	65名
令和3年 9月 7日 (火)	ポートプラザちば	68名
令和3年 9月 8日 (水)	ポートプラザちば	68名
令和3年11月25日 (木)	ポートプラザちば	69名
令和3年11月26日 (金)	ポートプラザちば	66名
令和4年 1月19日 (水)	ポートプラザちば	63名
令和4年 1月20日 (木)	ポートプラザちば	64名
令和4年 3月15日 (火)	ポートプラザちば	68名
令和4年 3月16日 (水)	ポートプラザちば	66名

4. 適正処理及びリサイクル等の普及推進事業

(1) 相談指導事業

- ① 産業廃棄物の適正処理のため、電話等による相談に応じた。処分先の間合せについては、協会ホームページの「業者検索システム」を活用し会員処理業者を斡旋した。
- ② 各種許可、届出手続き等について、随時相談に応じた。

(2) 広報啓発事業

- ① 安全に対する意識を高めるために「安全標語」の募集を行ったところ、290点の応募があり、審査の結果、「高めよう安全意識 危険を見つけてすぐ改善 みんなで築こう ゼロ災職場！」が最優秀賞に選ばれた。協会ホームページのトップページに掲載するなど、協会の各種広報活動に使用していく。
- ② 「協会報」(2021 夏号、2022 冬号) を発行し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動状況、関係行政機関の通達、産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。
- ③ 協会ホームページの内容を充実させ、排出事業者等に最新の情報提供を行った。

【URL : <https://www.chiba-sanpai.or.jp>】

- ④ 日本建設業連合会等発行「建設廃棄物処理委託契約書」等、出版物を有償頒布した。
- ⑤ 各種新聞、刊行物への広告及び掲載記事等を通じて協会活動の広報啓発を行った。
- ⑥ 第16回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。
- ⑦ 「エコメッセ 2021in ちば」に協賛した。

開催日 令和3年10月16日(土)～17日(日) Web開催

- ⑧ 第21回千葉県廃棄物適正処理推進大会

(実行委員会の一員として参画)

開催予定 令和4年1月12日(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

場 所 千葉県教育会館

式典は中止となったが、感謝状は別途、贈呈された。

当協会からは下記の7名が表彰された。

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰

『千葉県知事感謝状』

岩楯 保 氏 (株市川環境エンジニアリング)

小池 陽二 氏 (株タケエイ)

『千葉県環境生活部長感謝状』

碓 隆司 氏 (株アンカーネットワークサービス)

笈川 康成 氏 (千葉オイレッシュ(株))

坂本 剛 氏 (太陽建設(株))

椿 邦彦 氏 (株ナリコー)

妻本 竜志 氏 (有妻本商店)

主 催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

(構成員) (一社)千葉県産業資源循環協会・千葉県環境衛生促進協議会・
千葉県産業廃棄物処理業協同組合・(一財)千葉県環境財団・
(一社)千葉県環境保全協議会・(一社)千葉県建設業協会

- ⑨ 県民講座としての、一般県民を対象とした施設見学会

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

(3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)等普及推進事業

(公社)全国産業資源循環連合会発行の『産業廃棄物管理票(マニフェスト)』及び建設六団体副産物対策協議会発行の『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』を有償頒布した。その他、「マニフェストシステムがよくわかる本」を有償頒布し、産業廃棄物管理票の普及と適正処理の推進を図ったほか、記載方法等の問い合わせに

応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票（マニフェスト）』

直行単票	104,640	セット（前年度：117,650
直行連続	145,500	セット（前年度：173,500
積替単票	3,270	セット（前年度：1,980
積替連続	3,000	セット（前年度：6,000
計	256,410	セット（前年度：299,130

『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』

建設単票	118,970	セット（前年度：148,300
建設連続	136,000	セット（前年度：132,500
計	254,970	セット（前年度：280,800
合計	511,380	セット（前年度：579,930

（４）急性悪性家畜伝染病の発生に係る処理等支援

令和3年度に3例発生した、高病原性鳥インフルエンザに係る汚染物品及び雑芥類の焼却等について、協定に基づく県からの依頼により協力・支援した。

なお、2年度に発生した高病原性鳥インフルエンザに係る県との防疫協定に基づく協会・会員の協力に対し、知事感謝状が授与された。

（５）排出事業者セミナー（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止）

千葉県主催「千葉県廃棄物リサイクル促進研修会」（Web録画配信の研修会）の開催に協力した。

（６）優良産廃処理業者認定制度の普及促進

ホームページ等による情報提供等を通じて、廃棄物処理法の優良産廃処理業者認定制度の普及促進に努めた。

5. 環境保全対策事業

不法投棄等の不適正処理による支障除去に対する支援等については、該当事案がなかった。

6. 環境学習普及促進事業

環境学習授業用の教材DVD「ものが生まれ変わる様子を見に行こう！2020（木くず編）」を活用し、大人編としての資源循環学習動画「資源循環が社会を変える！？～木材リサイクルの現場を見てみよう～」を、県の協力を得て作成した。

また、コロナ禍で延期となっていた教材DVD「プラスチック編」作成のための撮影等を1年ぶりに再開した。

II 受託事業部門（継続事業2）

<県内産業廃棄物処理業者育成事業>

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務（千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Webセミナー（動画配信）として開催。

配信期間 令和3年10月8日（金）～令和3年11月30日（火）

※ 配信期間中は、24時間視聴可能とした。

視聴回数（再生回数） V i m e o 994回

Y o u T u b e 58回

2. 許可申請に係る相談業務（千葉県委託事業）

産業廃棄物収集運搬業（積替・保管を除く）の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る相談、優良認定制度に係る相談を実施した。

許可申請に係る相談時に、「水銀廃棄物の適正処理の推進のためのパンフレット」（環境省作成）とリーフレット「産業廃棄物の種類」を配布し、水銀廃棄物の取扱いについて周知徹底を図るとともに、適正処理とコンプライアンスの確保を呼び掛けた。

- ・新規許可に関する説明会 22回開催 出席者 39名
- ・新規許可申請 822件進達 延べ 1, 346件相談
- ・変更許可申請 152件進達 延べ 241件相談
- ・更新許可申請 1, 799件進達 延べ 2, 501件相談
- ・変更届出書 1, 008件進達 延べ 1, 534件相談
- 合計 3, 781件進達 延べ 5, 622件相談
- ・優良産廃処理業者認定制度に係る相談 47件
- ・更新手続きの通知 1, 968件

Ⅲ 収益事業部門（収益事業）

1. 県収入証紙売捌き事業

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受けて、県収入証紙を購入して、有償頒布（売捌き）をした。

Ⅳ 法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正並びに業界の環境変化に迅速的確に対処し、会員の意見や要望に応え得るよう、それぞれの問題について協議するため次のとおり開催した。

（1）委員会

① 総務企画委員会

令和4年度事業計画及び予算について、現状に対応した事業内容の見直しや新規事業について検討した。

② 広報研修委員会

視察研修や県民講座について検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

③ 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第21回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考を行った。

④ 安全衛生推進委員会

安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集及び労働安全に関する表彰の選考について協議した。

⑤ 環境学習普及促進特別委員会

資源循環学習動画「資源循環が社会を変える！？～木材リサイクルの現場を見てみよう～」を作成するとともに、その有効な活用策について検討した。

⑥ 会員増強特別委員会

会員増強方策について検討した。

⑦ 処理料金調査特別委員会

令和3年度建設系廃棄物処理料金調査の取りまとめ等を行った。

(2) 部 会

① 合同部会

開催日 令和3年12月9日(木)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

内 容 <講演>

ア. 交通安全講話 ～企業における安全運転管理～

講師：千葉中央警察署 交通官 高橋 聖 氏

イ. GX (グリーントランスフォーメーション) の取り組みおよび企業向け支援策について

講師：東京海上日動火災保険㈱ 営業開発部 中小企業支援室
課長代理 元井大治郎 氏

参加者 57名

② 医療廃棄物部会

開催日 令和3年9月14日(火)

場 所 協会会議室

内 容 感染性廃棄物の適正処理について

参加者 10名

③ 賛助会員建設部会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず。

(3) 支部会議

支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換、意見交換を行い、行政当局に対する要望事項をまとめた。なお、各支部とも会議終了後に開催している懇親会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は中止とした。

① 中央支部会議

開催日 令和3年11月18日(木)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 25名

② 西支部会議

開催日 令和3年11月18日(木)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 34名

③ 南支部会議

開催日 令和3年11月18日(木)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 45名

- 【共通議題】
- 産業廃棄物処理業に関する最新の動向について
千葉県 環境生活部 廃棄物指導課より説明
 - 災害廃棄物処理に係る協力依頼について
 - 意見交換
 - ア. 行政又は協会に対する意見・要望事項について
 - イ. その他
 - 連絡事項
 - ア. 事業継続力強化計画セミナーについて
 - イ. 産業廃棄物処理業者セミナーについて
 - ウ. 協会への加入促進のお願いについて
 - エ. 組合への加入について
 - オ. その他

2. 関係機関、団体との連携、協力

(1) 行政との連携、協力

- ① (公社)全国産業資源循環連合会を經由して主に環境省から提供される行政情報を協会ホームページに掲載し又は直接会員等に配布して、情報提供を行った。
- ② 千葉県環境生活部廃棄物指導課とは、支部会議等各種会議に担当者の出席を得るなど日常的に意思疎通を図るとともに、個別事項についての意見交換会を行った。
- ③ 千葉県環境生活部循環型社会推進課の主催事業に協力するとともに、環境学習や災害廃棄物の処理などについて、意見交換を行った。
- ④ 環境行政の推進に当たり、県及び柏市からの推薦依頼を受け、千葉県環境審議会委員として岩楯副会長が、柏市廃棄物処理清掃審議会委員として川嶋専務理事が活動した。
- ⑤ 行政懇談会
産業廃棄物の適正処理を推進するため、日常から行政に協力するとともに、千葉県及び3市と行政懇談会を開催し意見交換を行った。提案要望及び協議した事項は次のとおりである。

開催日 令和3年12月21日(火)
場 所 三井ガーデンホテル千葉
参加者 26名
内 容 ○意見交換
ア. 新たな千葉県総合計画 原案について
イ. 千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱について
ウ. 千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱について
エ. 最終処分場について

(2) 他団体との連携、協力

- ① (公社)全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が委員として参加するなど、連合会の事業推進に協力した。
- ② 関東地域の都県協会と交流を図り、(公社)全国産業資源循環連合会を通じて国等に対する要望活動を行うとともに、産業廃棄物に関する諸問題について協議するため次のとおり参加した。

- ・第66回関東地域協議会 (Web開催)

開催日 令和3年4月16日(金)

内 容 ○全産連の活動報告

○議事

ア. 令和2年度 事業報告及び収支決算報告

イ. 令和3年度 事業計画案及び収支予算案

ウ. 次回の開催地について

エ. その他

- ・第67回関東地域協議会 (Web開催)

開催日 令和3年11月25日(木)

内 容 ○全産連の活動報告

○議事

ア. 広域災害の場合における被災協会を非被災協会が支援する仕組みについて(千葉県協会提案)

イ. 各都県協会の収益改善のための取組について

(茨城県協会提案)

ウ. 建設汚泥処理物等の有価物該当性に係る第三者認証の開始に

ついて（埼玉県協会提案）

エ. その他

○講演

産業廃棄物行政の現状と今後の展望について

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 神谷 洋一 氏

- ・建設廃棄物対策委員会を開催し、2年に1度の処理料金調査を実施した。
- ・事務責任者会議（4月、10月）、事務担当者会議（7月）に参加した。
- ③（一財）千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会委員として杉田会長が活動した。
- ④ 大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会に参加した。

3. 新規会員の加入促進、会員間の連携強化

機会を捉えて、協会役員等により、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に対して事業内容等を説明し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、協会の事業紹介リーフレットを配布し、正会員及び賛助会員の加入促進を図った。

4. 顕彰・表彰事業

- ① 会長表彰として、功労者2名、優良事業所3事業所及び優良従事者30名を表彰した。

【功 労 者】 大賀 実 氏（高俊興業㈱）

新井 隆太 氏（新井総合施設㈱）

【優 良 事 業 所】 共同リサイクル㈱（成田市）

（有）妻本商店（鴨川市）

㈱エコ・マイニング（八千代市）

【優 良 従 事 者】 ○10年以上従事、年齢30歳以上

大塚 美明 氏（J&T環境㈱）

藤波 令一 氏（J&T環境㈱）

矢島 昌美 氏（丸徳興業㈱）

宍倉 和真 氏（エコシステム千葉㈱）

仲村 浩 氏（㈱カンナ）

中村 賢 氏（㈱東亜オイル興業所）

細川 洋輔 氏（千葉オイレッシュ㈱）

宮田 照也 氏（㈱市原ニューエナジー）

濱崎 晴光 氏（㈱カンナ）

池田 友紀 氏 (千葉オイレッシュ(株))
安部 千穂 氏 (株東亜オイル興業所)
堀口 竜一 氏 (株日美産業)
國分 園子 氏 (大平興産(株))
三浦 愛子 氏 (大平興産(株))

○20年以上従事、年齢40歳以上

川崎三津郎 氏 (大平興産(株))
佐々木 剛 氏 (高俊興業(株))
茂木佐治雄 氏 (大平興産(株))
長嶋 健一 氏 (株ナリコー)
今井 秀和 氏 (株ナリコー)
大江 修 氏 (エコシステム千葉(株))
庄田 篤史 氏 (株東亜オイル興業所)
佐藤 和幸 氏 (有妻本商店)
三瓶 隆史 氏 (丸徳興業(株))

○30年以上従事、年齢50歳以上

渡邊 初子 氏 (日東消毒(株))
高橋 吉一 氏 (株東亜オイル興業所)
柳澤 誠治 氏 (大平興産(株))
鶯澤 弘 氏 (大平興産(株))
関 肇 氏 (有ユウエイ社)
古澤 孝之 氏 (株東亜オイル興業所)
野村 崇 氏 (有妻本商店)

② 会長表彰として、労働安全優秀賞4事業所、労働安全特別賞4事業所、労働安全功労者賞4名及び安全標語最優秀賞1名を表彰した。

【労働安全優秀賞】 株カンナ (市原市)
(有妻本商店 (鴨川市)
株東亜オイル興業所 (八千代市)
日東消毒(株) (木更津市)

【労働安全特別賞】 株市原ニューエナジー (市原市)
千葉美装(株) エコRCセンター (南房総市)
千葉美装(株) エコウッド (安房郡鋸南町)
株日美産業 南房総エコ・プラント (鴨川市)

【労働安全功労者賞】 野村 崇 氏（有妻本商店）
平野 高広 氏（株カンナ）
松山 武司 氏（株東亜オイル興業所）
渡邊 初子 氏（日東消毒株）

【安全標語最優秀賞】 安達 孝行 氏（エコシステム千葉株）

③ （公社）全国産業資源循環連合会会長表彰として、地方優良事業所2事業所及び優良従事者6名を推薦し、表彰された。

【地方優良事業所】 株市原ニューエナジー（市原市）
新日環商事株（市川市）

【優良従事者】 今井 圭一 氏（大西総業株）
岩佐 義之 氏（株市川環境エンジニアリング）
高梨 洋幸 氏（株日美産業）
柘植 哲也 氏（大平興産株）
林 孝志 氏（株東亜オイル興業所）
藤田 宏 氏（株京葉興業）

④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）1名を推薦し、表彰された。
鈴木 洋一 氏（高俊興業株）

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

（1）第9回定時総会

開催日 令和3年5月27日（木）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

出席者 27社 27名、委任状186社、議決権行使書86社

議 事 <議案> 第1号議案 令和2年度事業報告について
第2号議案 令和2年度決算について
第3号議案 役員の補充について

以上の議案は、原案のとおり承認された。

<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について
第2号 令和3年度事業計画について
第3号 令和3年度予算について

(2) 常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

令和3年 5月 7日 (金) 常任理事会、理事会

5月27日 (木) 理事会

6月23日 (水) 常任理事会、理事会

7月28日 (水) 常任理事会

9月28日 (火) 常任理事会、理事会

10月26日 (火) 常任理事会、理事会

11月24日 (水) 常任理事会、理事会

12月21日 (火) 理事会

令和4年 1月27日 (木) 常任理事会、理事会

3月22日 (火) 常任理事会、理事会

【重要事項】

令和 3年 4月 1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉県知事と締結

令和 3年 6月21日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉市長と締結

令和 3年 6月30日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を柏市長と締結

令和 3年 7月 1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を船橋市長と締結

令和 3年 8月26日 高病原性鳥インフルエンザに係る防疫対応への協力が評価され、千葉県知事から感謝状が贈呈

令和 3年10月26日 循環型社会形成の実現とSDGsの推進に関する包括連携協定を東京海上日動火災保険㈱と締結

【 会員の変動状況 】

(令和4年3月31日現在)

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末	増 減
正 会 員	4 0 7	6	7	4 0 6	△ 1
賛助会員	3 7	2	1	3 8	1
計	4 4 4	8	8	4 4 4	0

(正会員内訳)	収集運搬のみ	2 1 6社
	中間処理のみ	3 5社
	最終処分のみ	2社
	収運・中間	1 4 1社
	収運・最終	4社
	中間・最終	1社
	収運・中間・最終	4社
	排出事業者その他	3社

【理事等】

(令和4年3月31日現在)

役職	氏名	会社名
会長	杉田 昭 義	杉田建材(株)
副会長	山本 隆	(株)日美産業
副会長	大賀 実	高俊興業(株)
副会長	岩 楯 保	(株)市川環境エンジニアリング
専務理事	川 嶋 博 之	(一社)千葉県産業資源循環協会
常任理事	新 井 隆 太	新井総合施設(株)
常任理事	高 橋 政 行	船橋興産(株)
常任理事	宮 内 美津子	(株)ミヤウチ
常任理事	安 池 慎一郎	(株)東亜オイル興業所
常任理事	大 池 秀 和	エコシステム千葉(株)
理 事	野 村 進 一	千葉オイレッシュ(株)
理 事	平 澤 雅 彦	大平興産(株)
理 事	三 橋 謙 一	新日本環境整備(株)
理 事	加 瀬 邦 雄	(株)ナリコー
理 事	池 田 美恵子	(株)イケダ
理 事	保 田 優 太	保田産業(株)
理 事	水 内 郁 夫	(株)京葉興業
理 事	小 池 陽 二	(株)タケエイ
理 事	吉 田 理 和	(株)富澤商店
理 事	伊 藤 公 子	共同リサイクル(株)
理 事	坂 本 剛	太陽建設(株)
理 事	瀬 田 英 博	(株)エコ・マイニング
理 事	小 林 敬 司	J & T環境(株)
理 事	宮 島 三 郎	
理 事	大 島 直 人	(一社)千葉県環境保全協議会
監 事	碓 隆 司	(株)アンカーネットワークサービス
監 事	田 中 昌 夫	税理士法人 千葉中央会計事務所

参 考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障を防止し、資源循環や適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚を促進するとともに、産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図ることを目的に設置されている。

基金運営委員会は、この基金の適正かつ効果的な運営を図るために、次のとおり会議を開催した。

○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和4年1月27日（木）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

議 事 (1) 令和3年度環境保全対策基金事業の進捗状況について
(2) 令和4年度環境保全対策基金事業計画（案）について

【 委 員 】

(令和4年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	瀧 和 夫	千葉工業大学名誉教授
副委員長	飯 田 浩 子	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	岩 田 元 一	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	角 田 一 洋	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	陣 野 正 美	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	山 本 隆	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	大 賀 実	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	岩 楯 保	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として43名をもって構成し、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業実施を展開することとしていたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、部会員の健康と安全を最優先に考慮する観点から、事業を縮小しての活動となった。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(1名加入)

2. 定時総会

第9回定時総会を令和3年5月25日(火)に開催し、令和2年度事業報告及び収支決算報告、令和3年度事業計画及び収支予算は原案のとおり承認された。

3. 役員会

役員会を6回(うちWeb開催4回)開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

4. 他都県協会との交流

(1) 全国産業資源循環連合会青年部協議会

- ・第22回通常総会(書面決議)
- ・第11回カンファレンス(Web開催)

(2) 全国産業資源循環連合会青年部協議会 関東ブロック

- ・第17回通常総会(Web開催)
- ・幹事会(Web開催)

5. 研修会等(Web開催)

経営者に役立つ!!上手なウソの付き方、見抜き方 ~ウソが会社を守ります!!~

講師:(一社)日本刑事技術協会 代表理事 森 透匡 氏

詐欺・横領等知能犯事件専門家(元千葉県警 警部)

6. 千葉県中小企業団体青年中央会

総会、その他関連行事(Web開催)等に参加した。

女性部会活動報告

女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換し、互いの知識向上、親睦を図ることを目的として7名で構成している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しての活動となった。

1. 組織の充実強化

女性部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。

2. 女性部会

女性部会を1回開催し、今後の女性部会のあり方について話し合った。

3. 他都県協会との交流

- (1) 廃棄物処理業界における女性活躍推進に向けて女性部会長座談会に参加した。
- (2) 関東地域協議会女性部会 総会（書面議決）に参加した。
- (3) 「第10回女性部会のつどい on the Web」に参加した。